

前橋市子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査報告書

【概要版】

令和6年10月

前橋市

◆ ニーズ調査概要 ◆

1 調査の目的

第3期前橋市子ども・子育て支援事業計画策定に向けて、市民の皆様の子育て支援に関する生活実態やご要望・ご意見などを把握するために、「子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査」を実施しました。

2 調査期間

令和6年7月5日（金）～令和6年7月31日（水）

3 調査対象

就学前児童保護者： 市内在住の0歳から小学校就学前のお子さんのいる家庭の中から無作為に抽出※ひとり親家庭を含む。

小学生児童保護者： 市内在住の小学生のお子さんのいる家庭の中から無作為に抽出※ひとり親家庭を含む

※ 令和6年6月1日現在の住民基本台帳より無作為抽出

4 配布数および回収数

	配布数	有効回収数	有効回収率
就学前児童保護者	1,200	798 (内 web402)	66.5%
小学生児童保護者	1,400	654 (内 web361)	46.8%
計	2,600	1,452	55.8%

前回ニーズ調査結果

(平成31年3月)

2 調査期間

平成30年11月8日（木）～平成30年12月7日（金）

4 配付数および回収数

	配付数	有効回収数	有効回収率
就学前児童保護者	1,450	1,073	74.00%
小学生児童保護者	1,350	1,196	88.60%
計	2,800	2,269	81.00%

◆ 未就学児童保護者 ◆

①お子さんについて

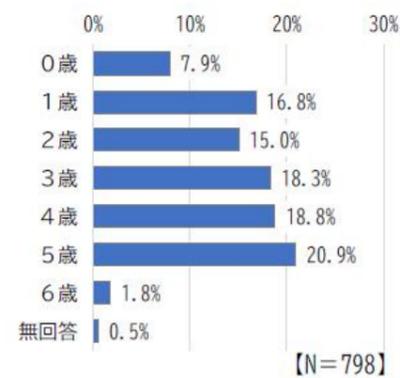
●お住いの地区

お住まいの地区は、「本庁管内」が41.5%、「桂萱」が8.5%、「南橘」が6.3%、「上川淵」が6.0%となっています。

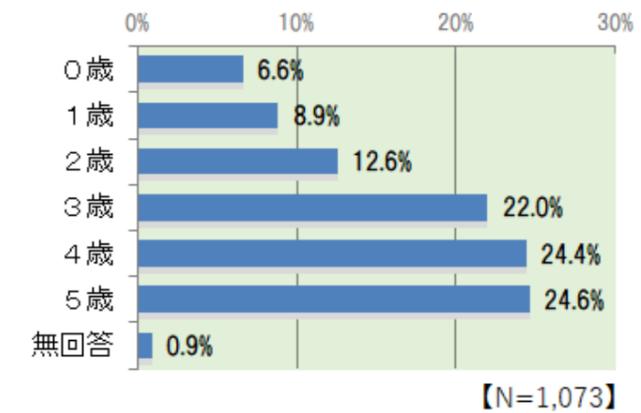
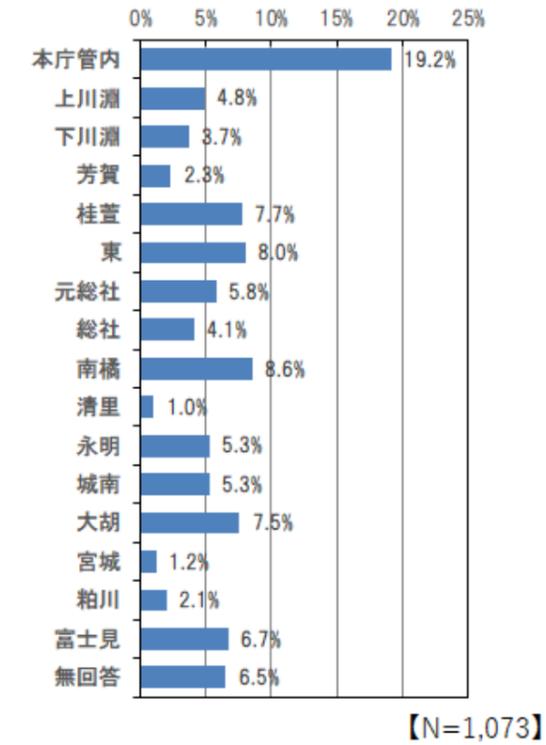
※「本庁管内」とは、「上川淵」～「富士見」の地区に該当しない地区です。



●年齢



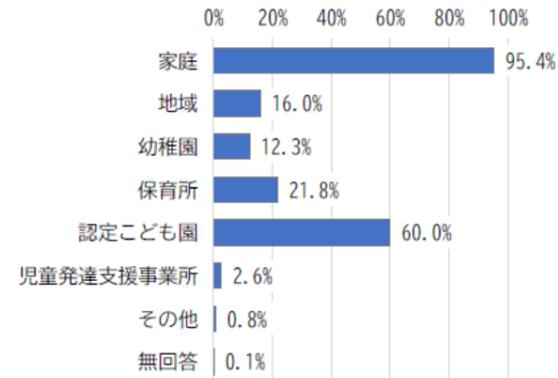
お子さんの年齢は、「5歳」が20.9%、「4歳」が18.8%、「3歳」が18.3%となっています。



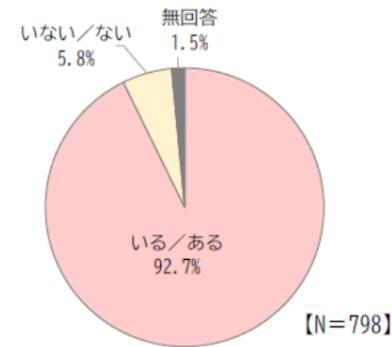
②子育てをめぐる環境について

●子育てにもっとも影響すると思う環境

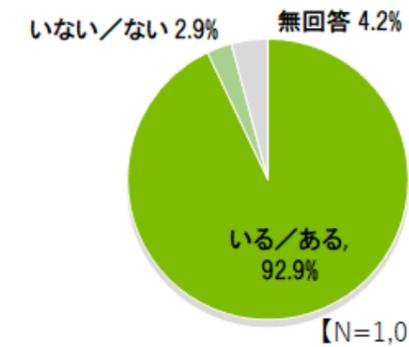
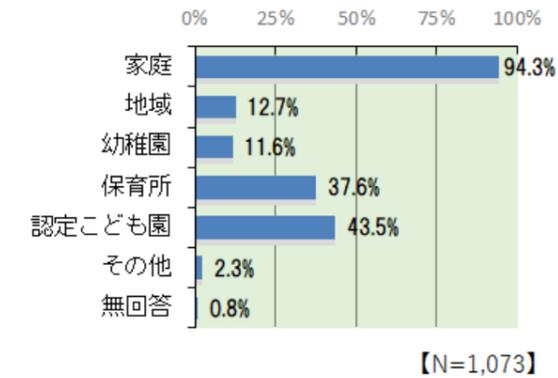
子育て（教育を含む）でもっとも影響を与えらるる環境については、「家庭」が95.4%と最も多く、次いで「認定こども園」が60.0%、「保育所」が21.8%となっています。



●子育ての相談できる人はいますか

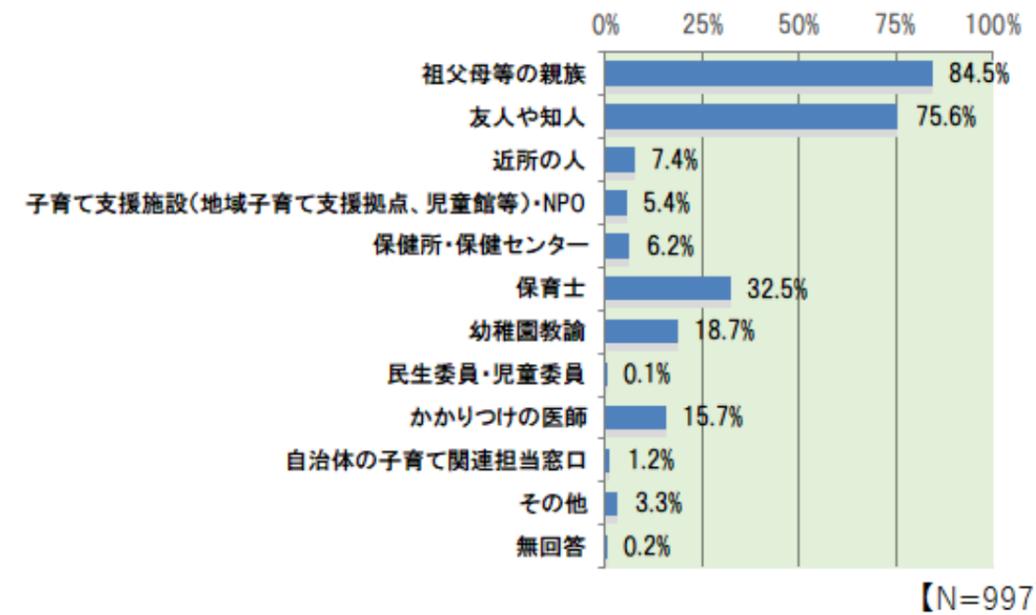
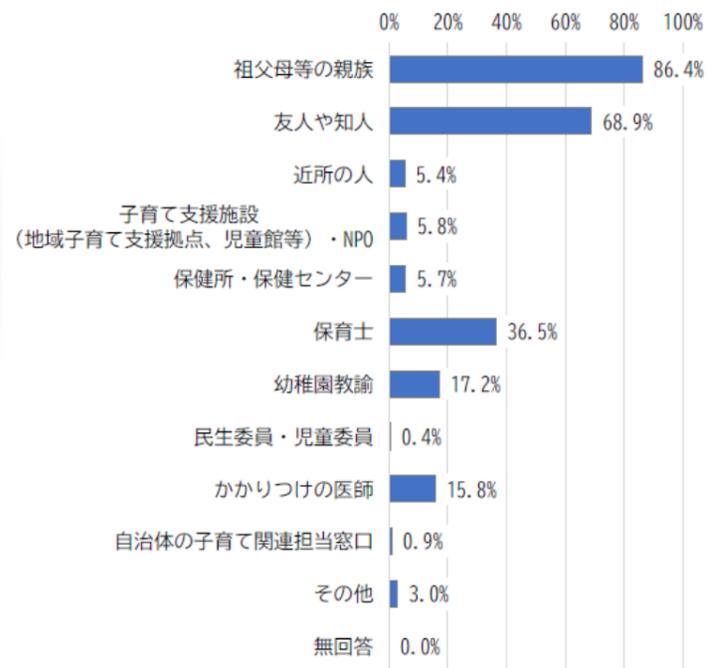


子育ての相談できる人の有無については、「いる/ある」が92.7%、「いない/ない」が5.8%となっています。



●相談先は誰（どこ）ですか

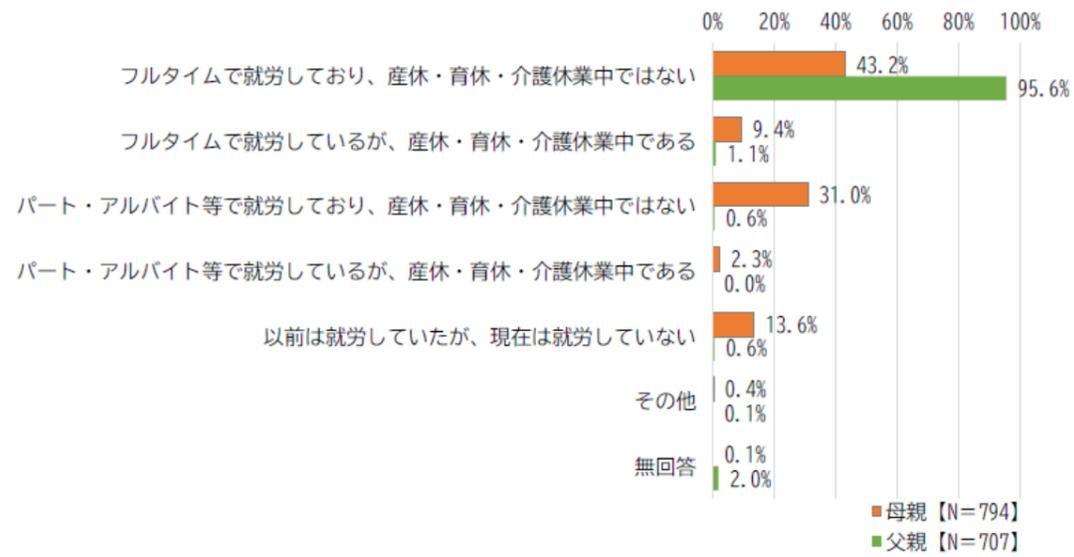
気軽に相談できる先は、「祖父母等の親族」が86.4%、「友人や知人」が68.9%、「保育士」が36.5%となっています。



③保護者の就労状況について

●就労状況を教えてください

就労状況については、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が母親（43.2%）・父親（95.6%）ともに最も多くなっています。

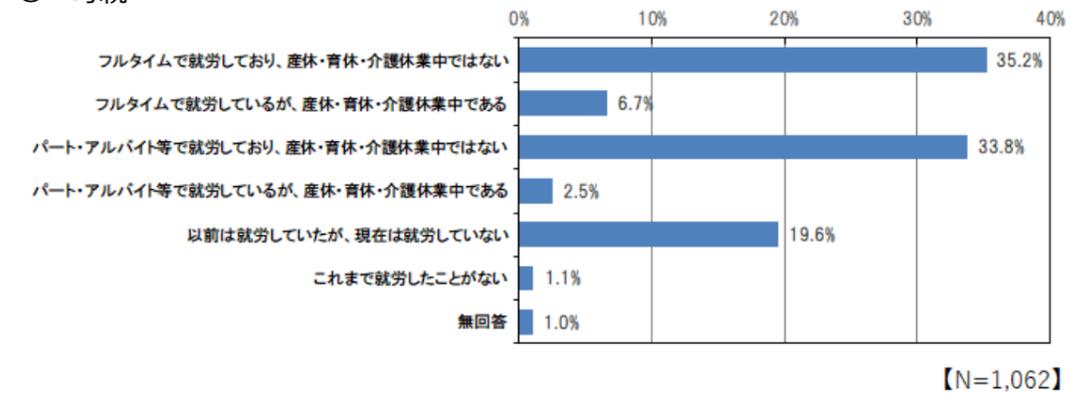


●就労している母親・父親の1日当たりの就労時間

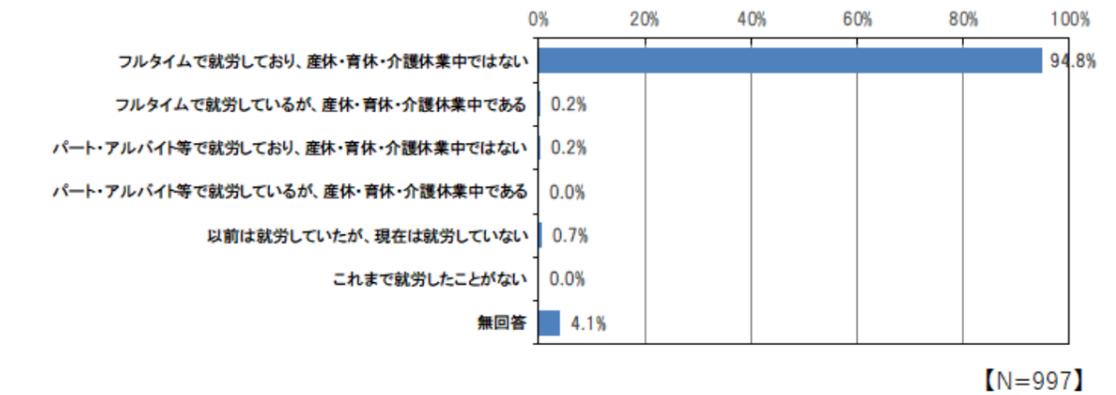


1日当たりの就労時間については、母親は「8時間程度」が26.4%と最も多く、「6時間程度」「7時間程度」も20%を超えています。父親は「8時間程度」が40.7%と最も多く、「9時間程度」「10時間程度」が続いています。

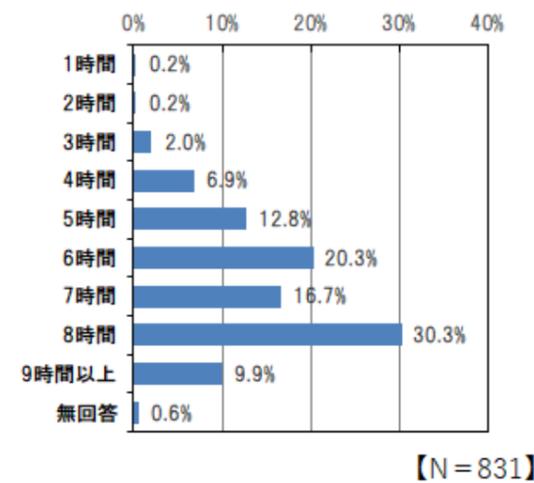
○ 母親



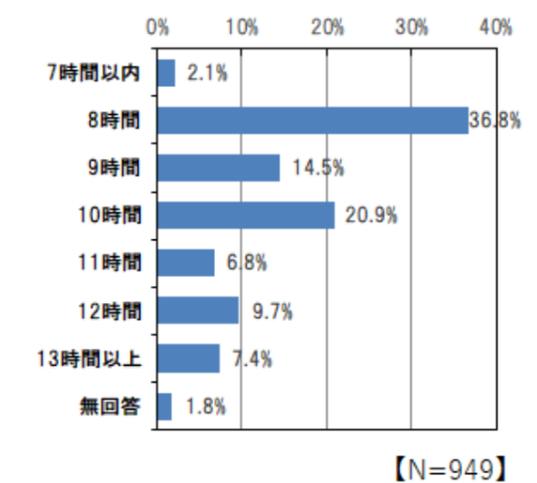
○ 父親



○ 母親

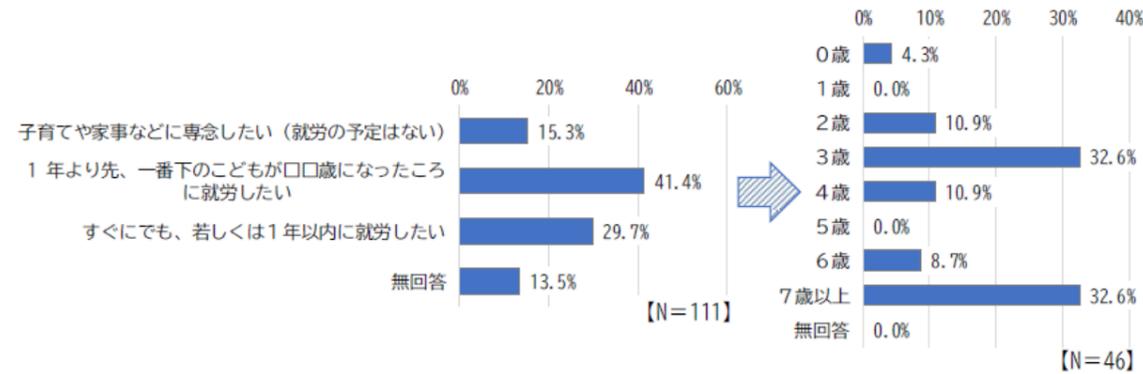


○ 父親



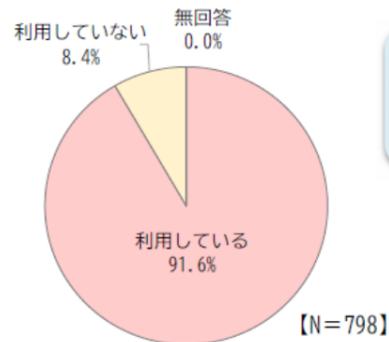
●就労していない母親の今後の就労希望

「一番下のこどもが□□歳になったところに就労したい」が41.1%と最も多くなっています。また、その年齢は、「3歳」「7歳以上」がともに32.6%となっています。



④平日の教育・保育の利用について

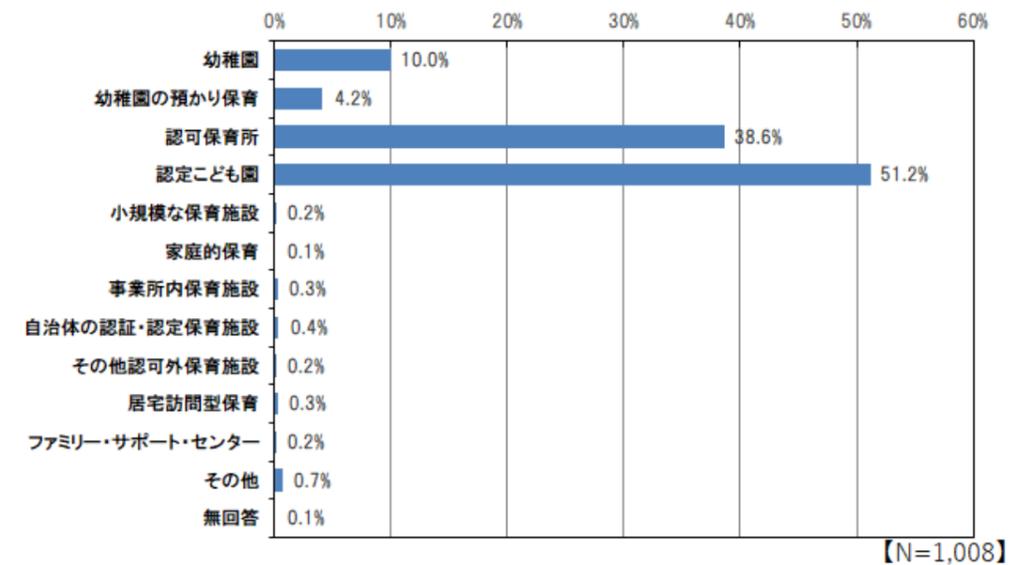
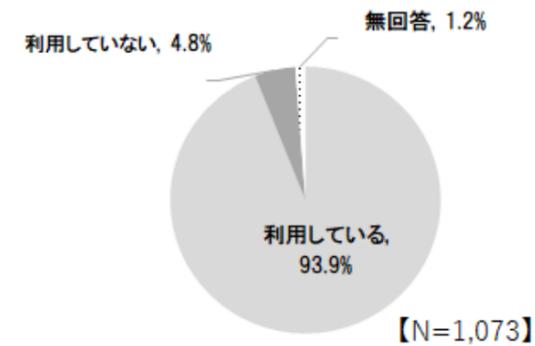
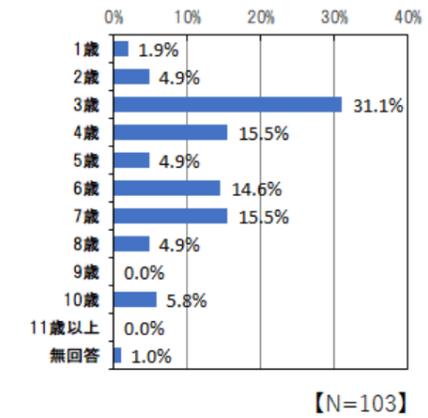
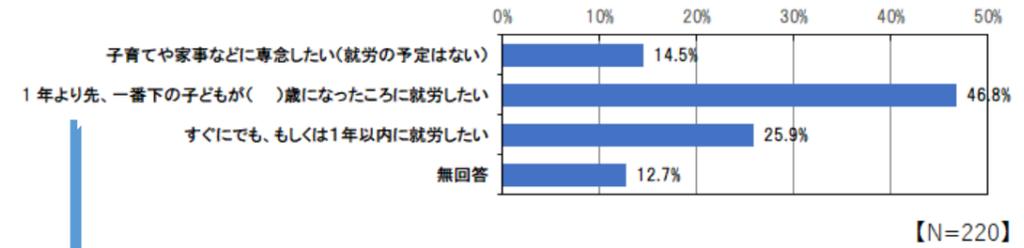
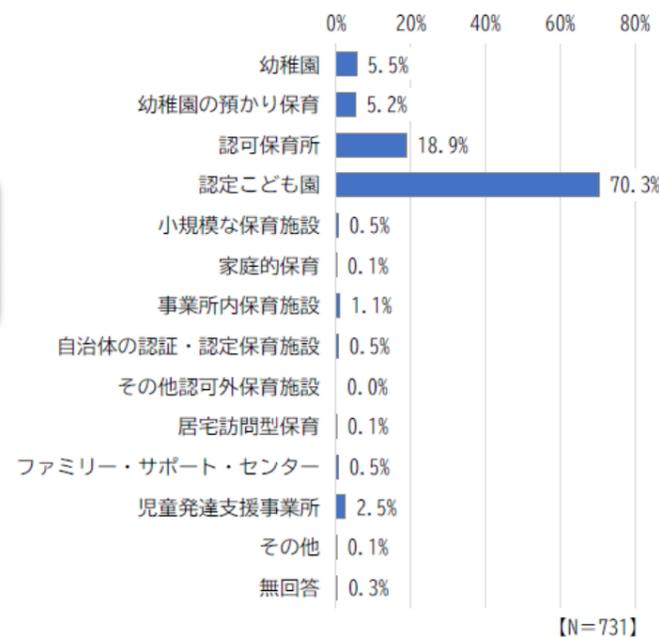
●定期的に利用していますか



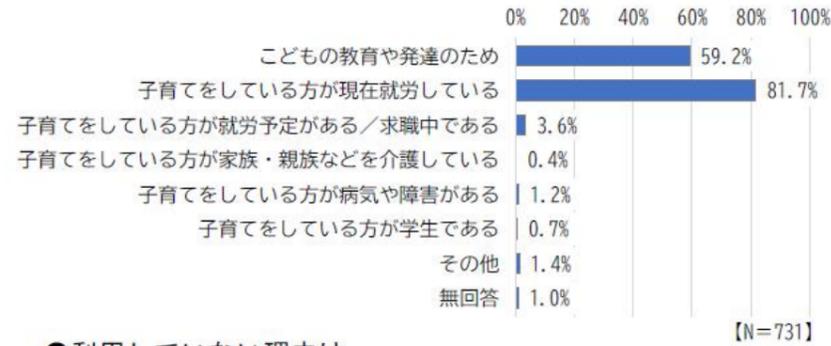
定期的な教育・保育の事業の利用状況は、「利用している」が91.6%、「利用していない」が8.4%となっています。

□主に利用している事業□

利用している教育・保育の事業は、「認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)」が70.3%と最も多くなっています。



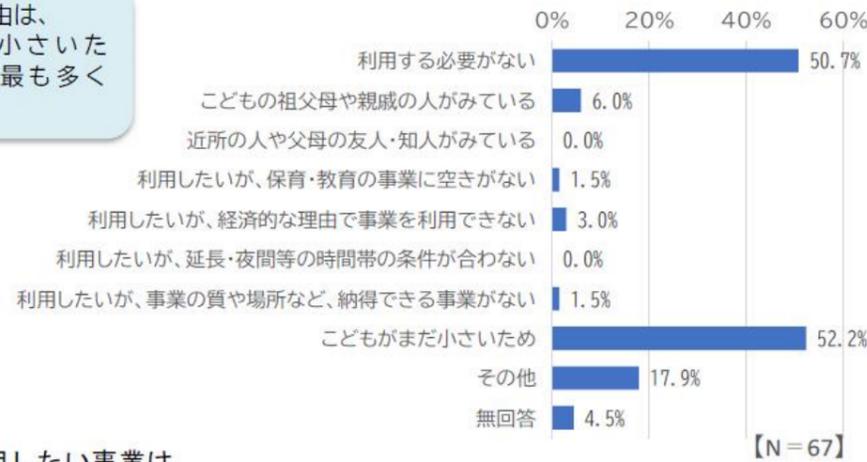
●利用している理由は



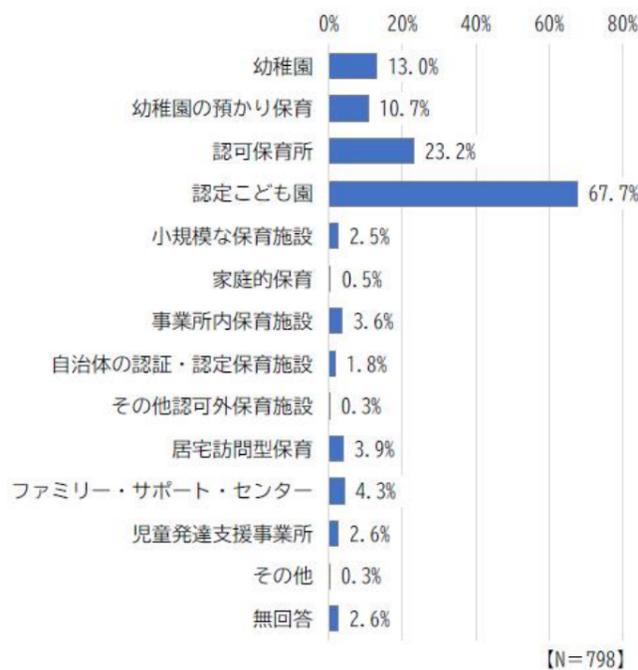
利用している理由は、「子育てをしている方が現在就労している」が81.7%と最も多くなっています。

●利用していない理由は

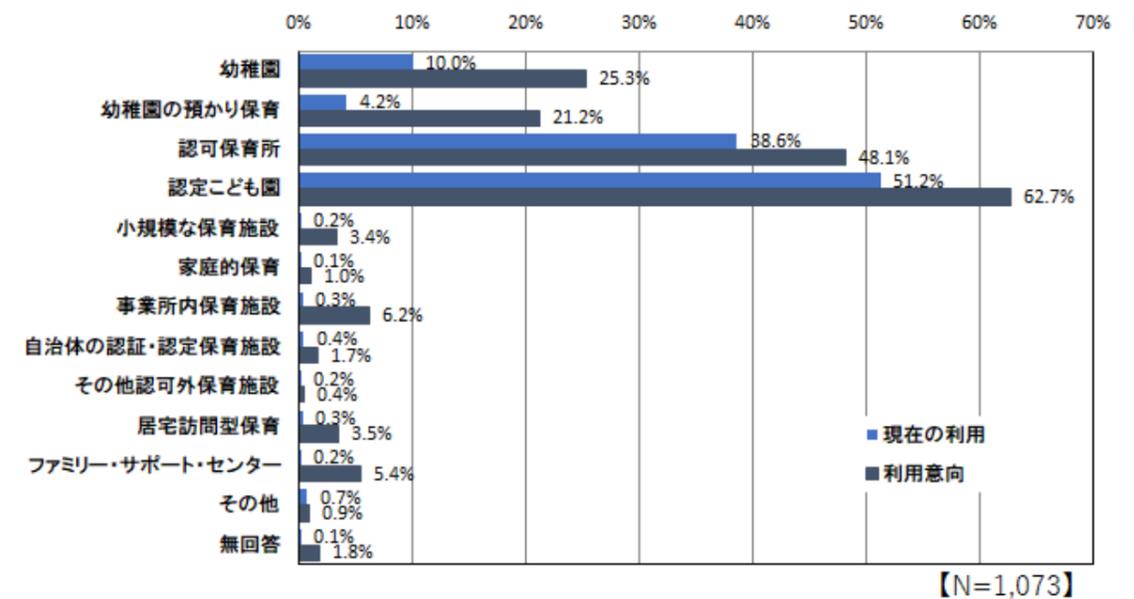
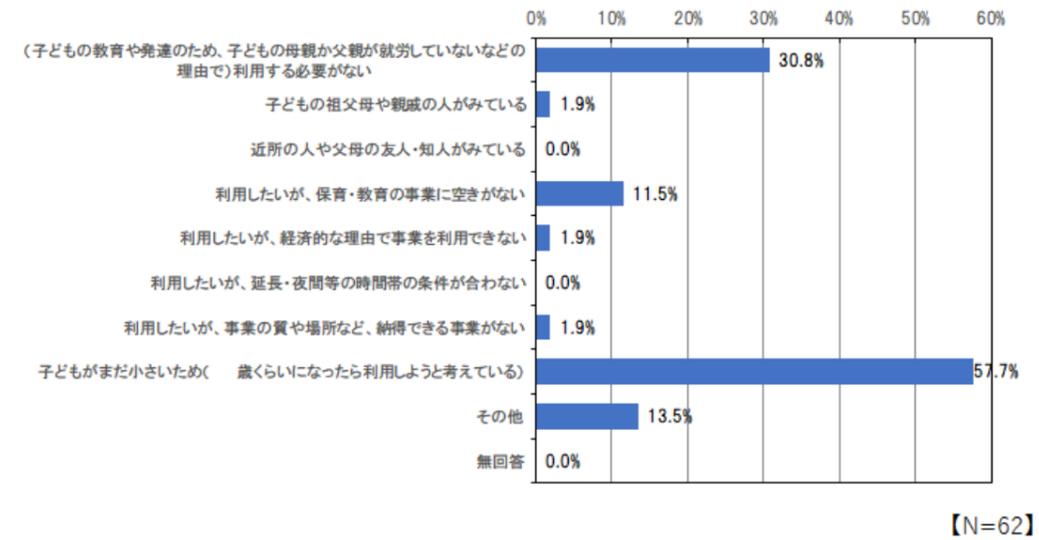
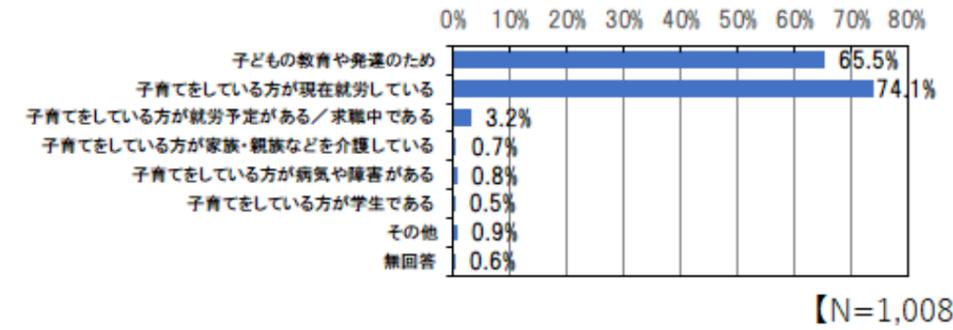
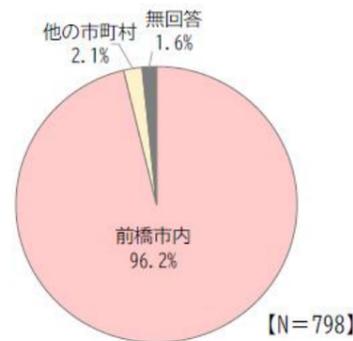
利用していない理由は、「子どもがまだ小さいため」が52.2%と最も多くなっています。



●今後定期的に利用したい事業は



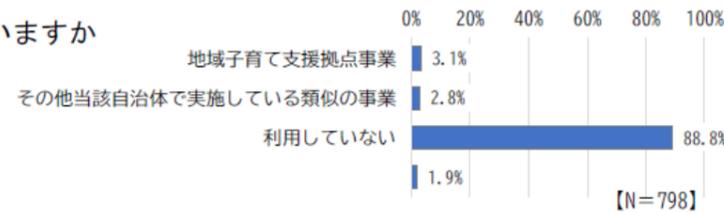
今後定期的に利用したい事業は、「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」が67.7%と最も多くなっています。また、利用したい場所については、「前橋市内」が96.2%となっています。



⑤地域の子育て支援事業の利用状況について

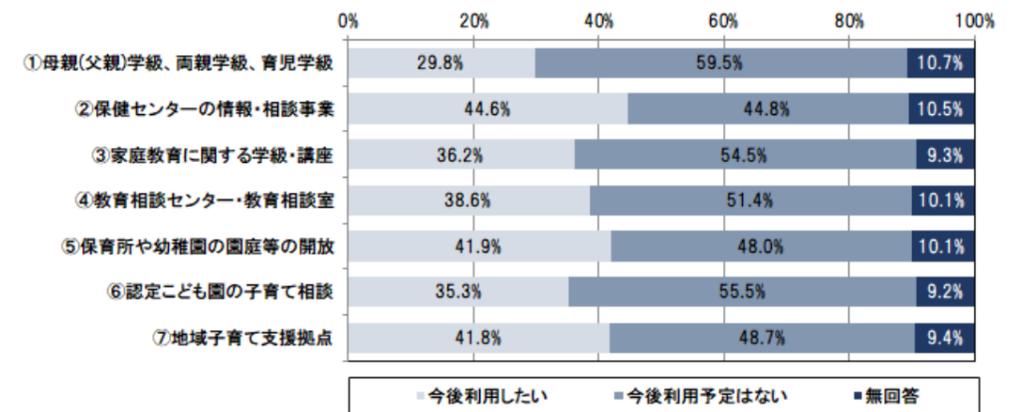
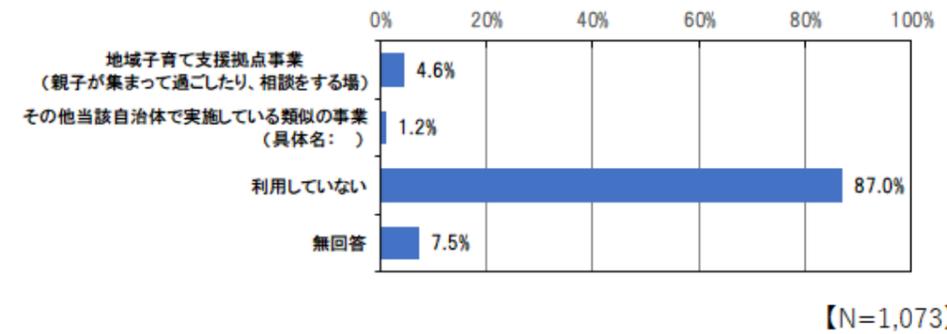
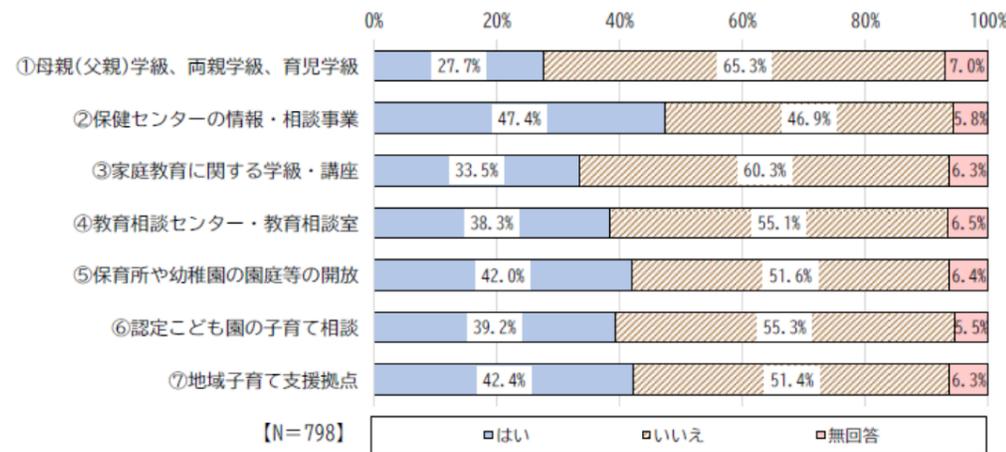
●子育て支援拠点事業を利用していますか

「利用していない」が88.8%
となっています。



●今後、事業を利用したいですか

「②保健センターの情報・相談事業」を利用したいが、47.4%となっています。

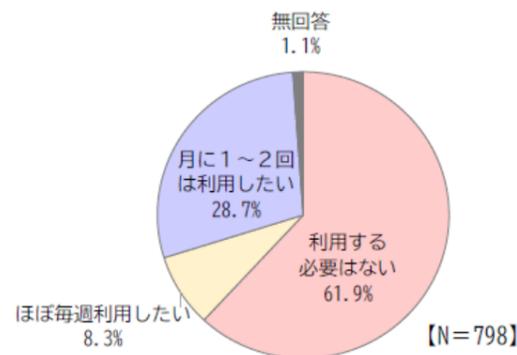


⑥土曜、日曜・祝日、長期休暇中の保育について

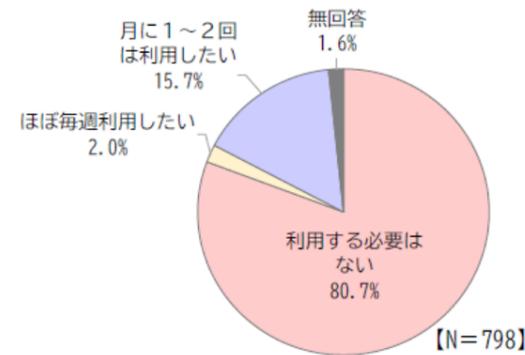
●「土曜、日曜・祝日の保育」の利用希望はありますか

「利用する必要はない」では、土曜日が61.9%、日曜日が80.7%となっています。

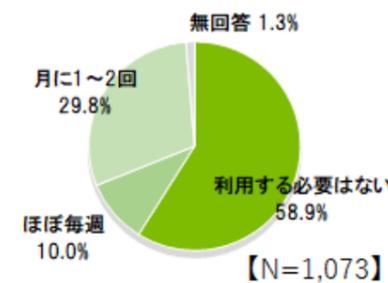
□土曜日



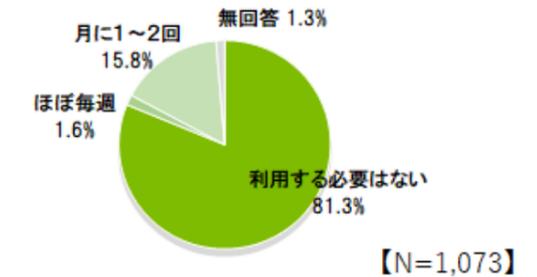
□日曜・祝日



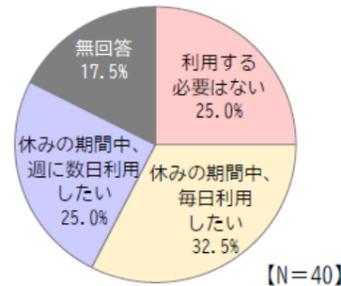
○土曜日



○日曜・祝日



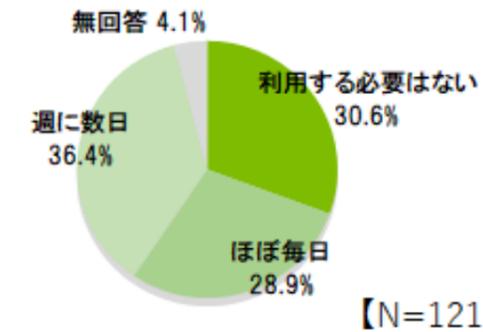
●「長期休暇中の保育」の利用希望はありますか



「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が32.5%、「休みの期間中、週に数日利用したい」が25.0%となっています。

※この設問の回答者は幼稚園に通園されている方のみです。

【N=40】

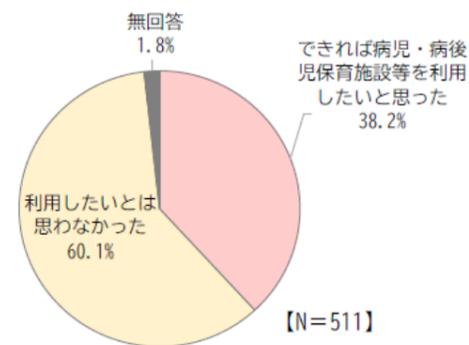


【N=121】

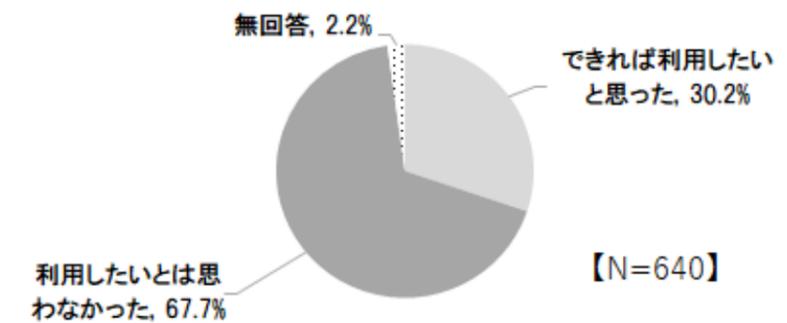
⑦病児・病後児保育、一時預かりについて

●「病児・病後児のための保育施設等」

「利用したいとは思わなかった」が60.1%となっています。その理由については、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」「親が仕事を休んで対応する」の割合が多くなっています。

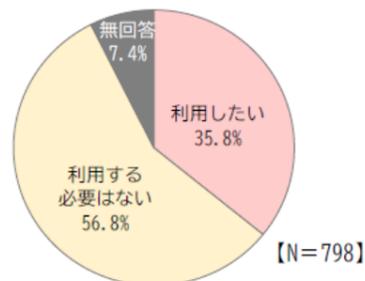


【N=511】



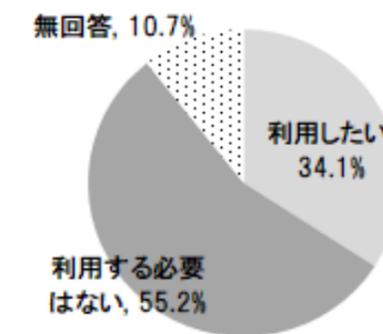
【N=640】

●「一時預かり」



【N=798】

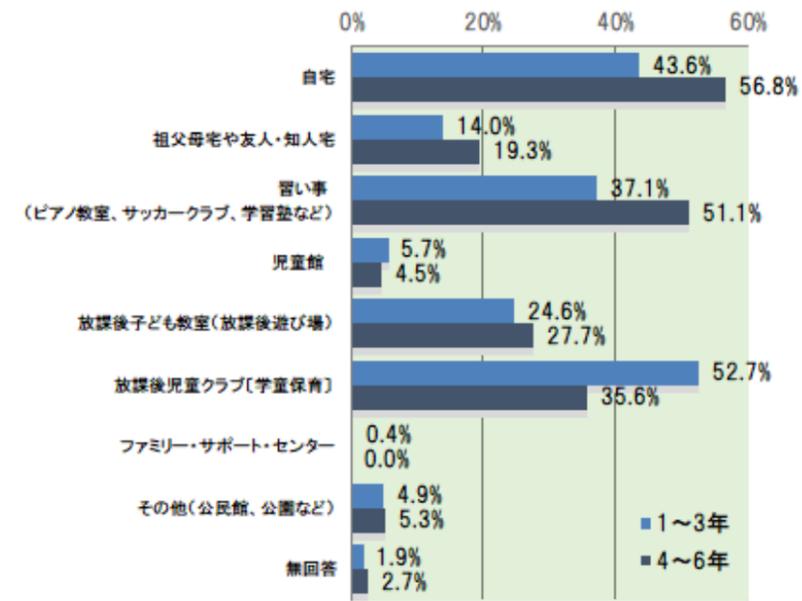
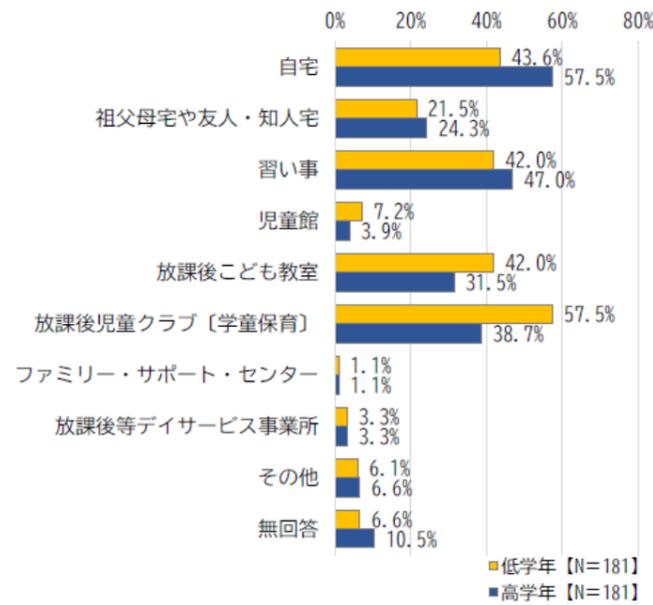
「利用する必要がある」が56.8%となっています。その目的については、「私用（買物、こども（きょうだいを含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」「冠婚葬祭、学校行事、こどもや親の通院等」の割合が多くなっています。



【N=1,073】

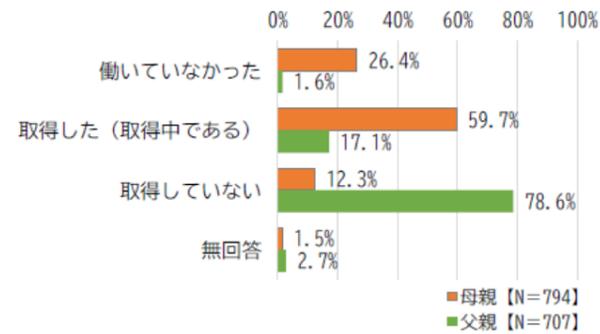
⑧小学校入学後の放課後の過ごし方について（希望）

低学年のうちは、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」が57.5%と最も多く、次いで「自宅」が46.6%、「習い事」「放課後こども教室（遊び場）」がともに42.0%となっています。
高学年になると、「自宅」が57.5%、「習い事」が47.0%となっています。

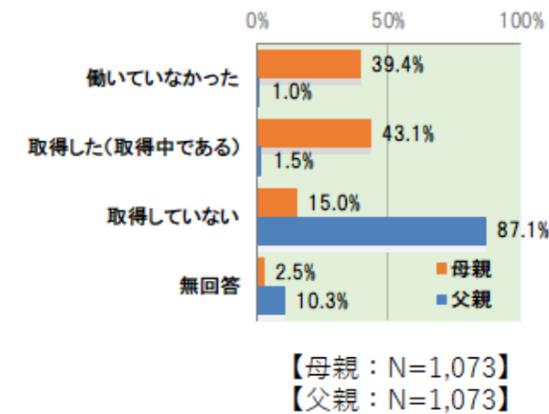


⑨育児休業等について

●育児休業を取得しましたか

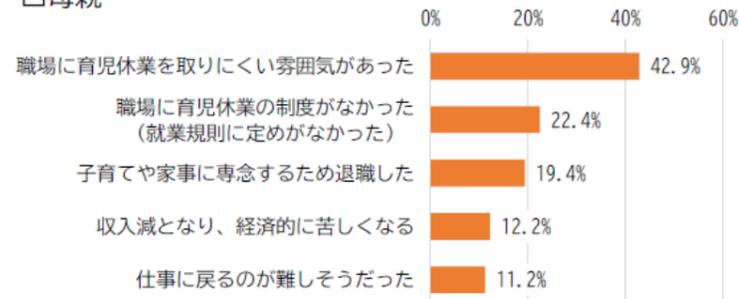


母親では、「取得した(取得中)」が59.7%、父親では、「取得していない」が78.6%となっています。

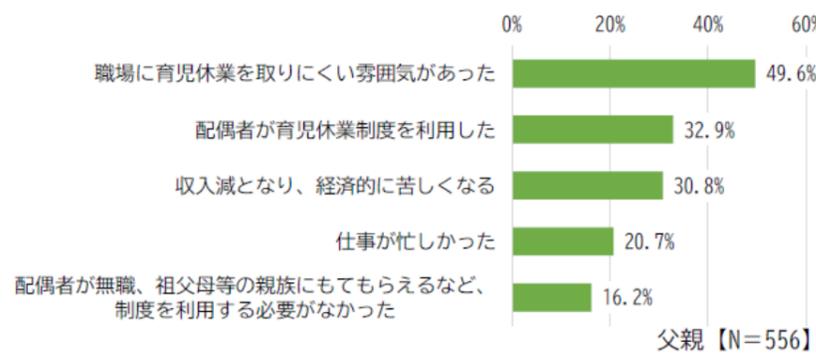


●育児休業を取得していない理由（※上位5位）

□母親

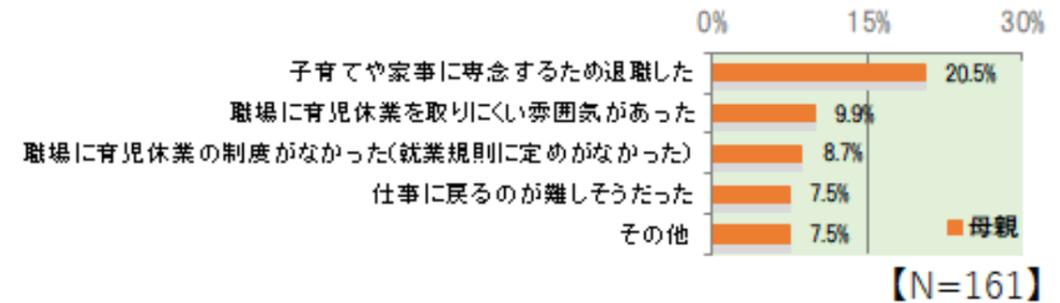


□父親

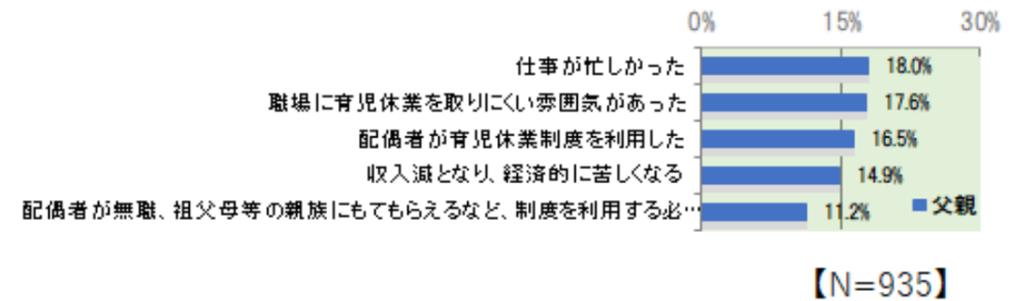


母親の理由では、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が42.9%と最も多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が22.4%となっています。
父親の理由では、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が49.6%と最も多く、次いで「配偶者が育児休業制度を利用した」が32.9%となっています。

○母親



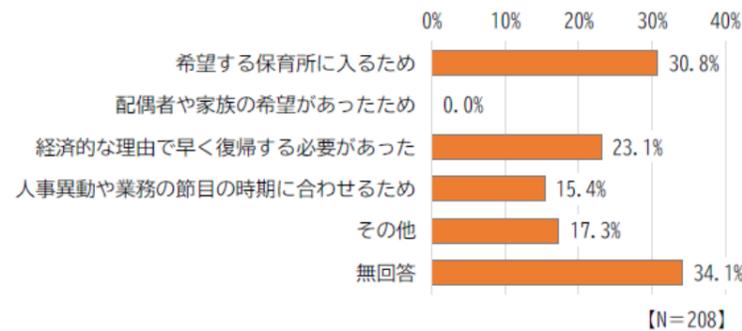
○父親



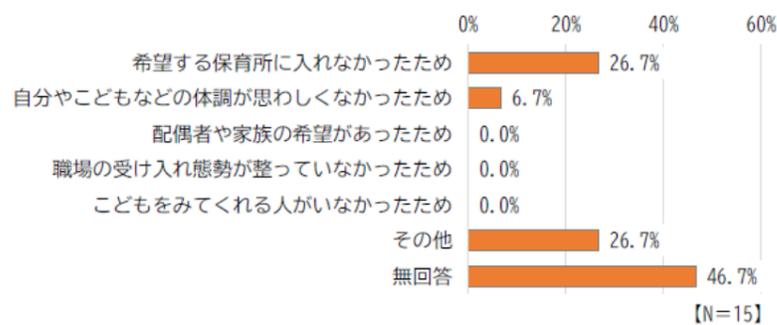
●育児休業から復帰する時期が、希望と異なった理由

□母親が早く復帰した理由

早く復帰した理由については、「希望する保育所に入るため」が30.8%と最も多く、次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が23.1%となっています。



□母親が遅く復帰した理由



遅く復帰した理由については、「希望する保育所に入れなかったため」が26.7%と最も多くなっています。

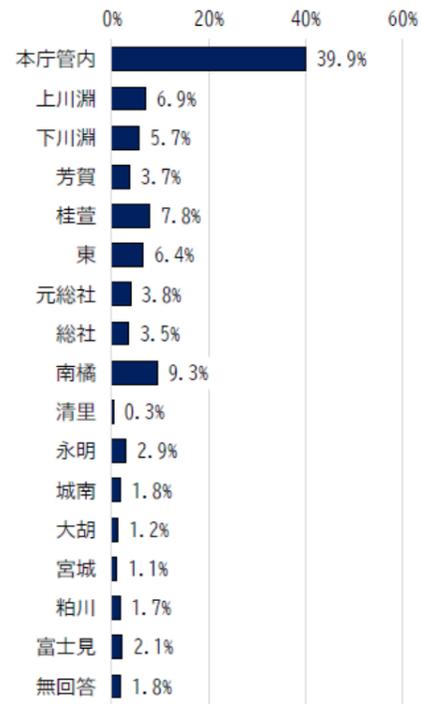


◆ 就学児童保護者 ◆

①お子さんについて

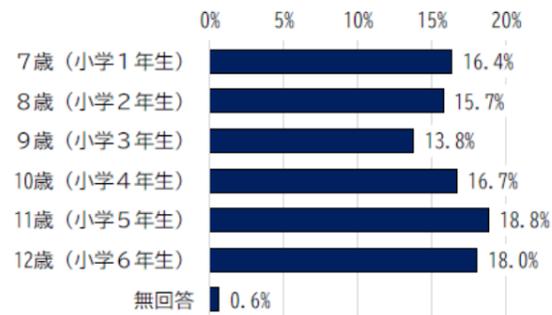
●お住いの地区

お住まいの地区は、「本庁管内」が39.9%、「南橘」が9.3%、「桂萱」が7.8%となっています。



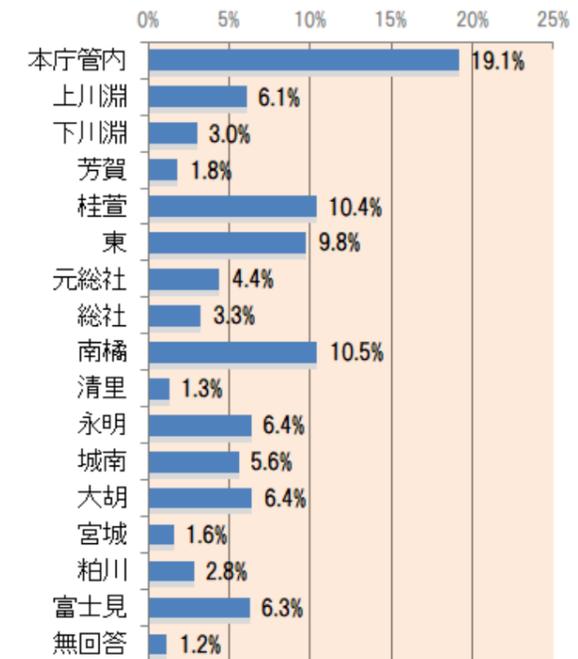
【N=654】

●年齢

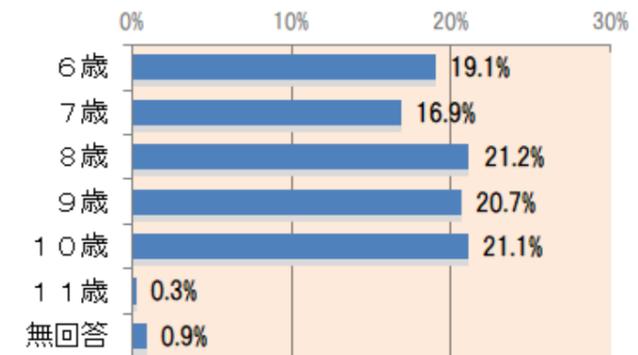


【N=654】

年齢は、「11歳 (小学5年生)」が18.8%、「12歳 (小学6年生)」が18.0%となっています。



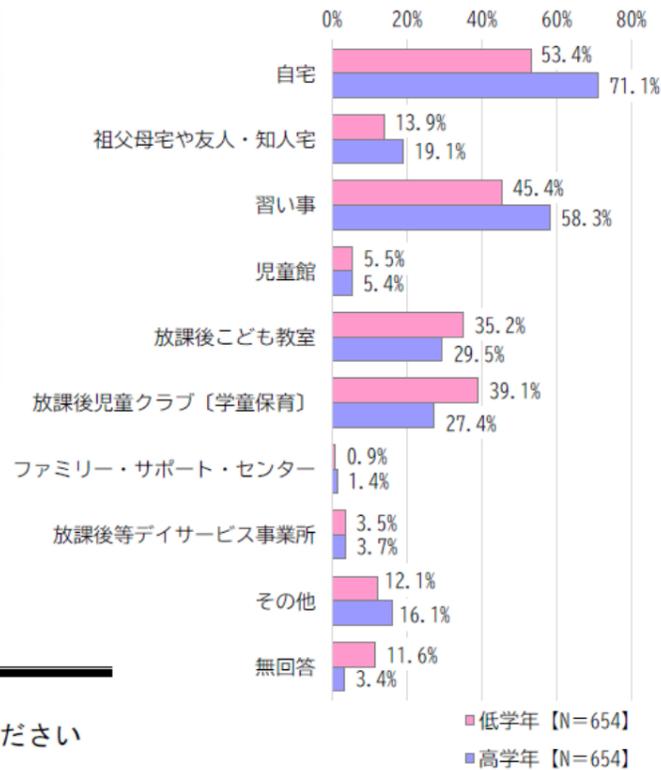
【N=1,196】



【N=1,196】

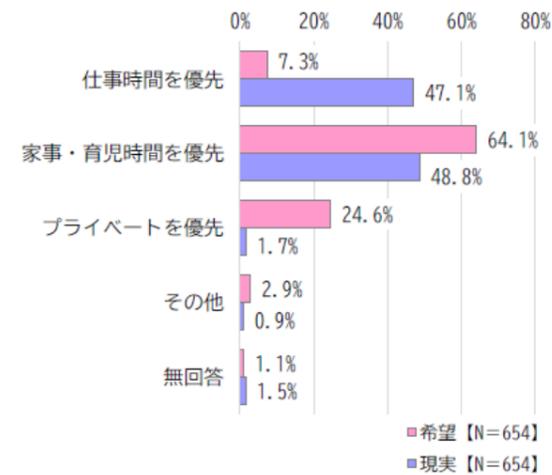
②放課後の過ごし方について

低学年のうちは、「自宅」が53.4%と最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が45.4%となっています。
高学年になると、「自宅」が71.1%、「習い事」が58.3%となっています。

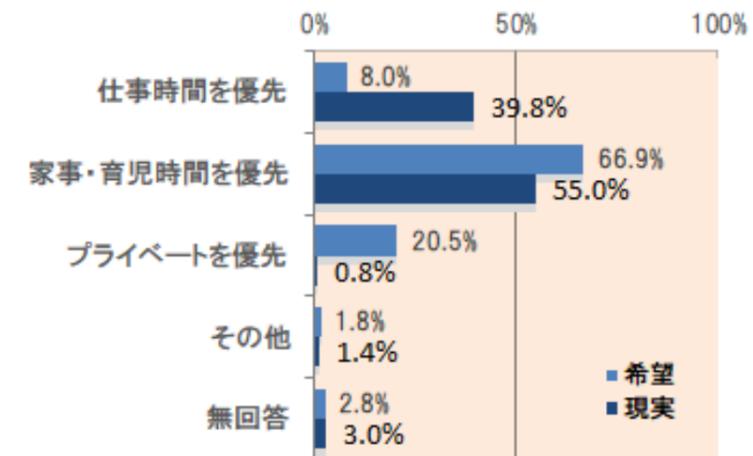
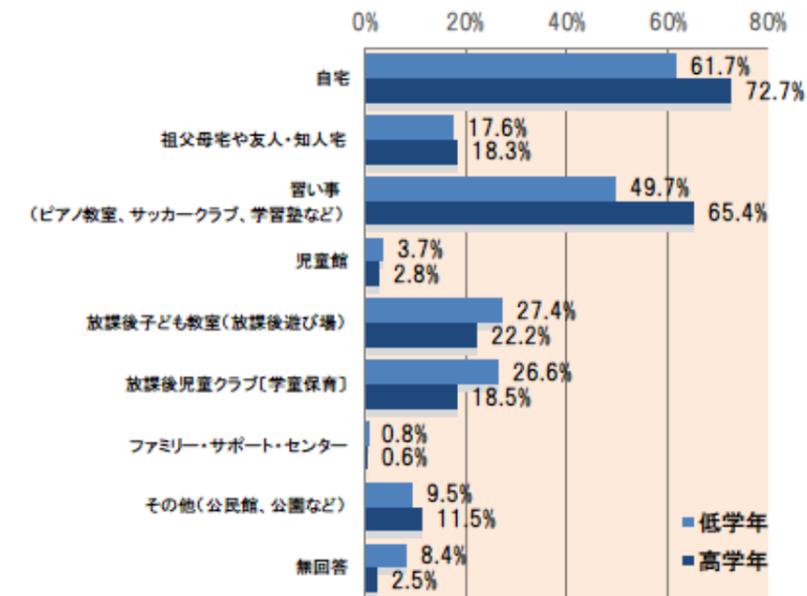


③子育てについて

●生活における「優先順位」を教えてください



希望では、「家事・育児時間を優先」が64.1%と最も多く、次いで「プライベートを優先」が24.6%となっています。
現実では、「家事・育児時間を優先」が48.8%と最も多く、次いで「仕事を優先」が47.1%となっています。



【N=1,196】

子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査報告書【概要版】

前橋市

令和6年10月

こども未来部 こども施設課 施設管理係 電話：027-212-0884